

保護者の皆様

札幌市立藤野中学校

校長 小田島 潔恵

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、本年度4月に実施されました標記の調査につきまして、文部科学省から届いた調査結果をもとに、本校において、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために分析を進めてまいりました。

このたび、分析結果がまとまりましたので、その概要について保護者の皆様にお知らせいたします。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解いただけますようお願いいたします。

I 調査の結果

(I) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

◇「人間尊重の教育」に係る質問

- ・先生は、貴方の良いところを認めてくれていると思いますか。・・・ 全国数値より上回る。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談
できますか。・・・ 全国数値より上回る。
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか。・・・ 全国数値より上回る。

◇さっぱり子ども自主的な活動に関わる質問

- ・あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級活動で話し
合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。・・・ いずれの質問も、全国
数値と比較して、ほぼ
同等か少し上回る。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力す
べきことを決めて取り組んでいますか。

◇課題探究的な学習に関わる質問

- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところ
について、分かるまで教えてくれていると思う。・・・ 全国数値より上回る。
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互い
に協力しながら課題の解決に取り組んでいる。・・・ 全国数値より上回る。
- ・1・2年生時の授業で、自分の考えを発表する場面では、自分の考
えが上手く伝わるように資料や文章、話の組み立てを工夫して発表
していた。・・・ 全国数値より下回る。

◇ICT活用に係る質問

- ・パソコンやタブレットを使って、「文字を打つ」「情報の収集」「情報
の整理(図や表・グラフを使ってまとめる)ことができる。・・・ 全国数値より上回る。

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

(2) 教科に関する調査（国語）

国語の調査結果の概要についてお知らせいたします。なお、分析にあたってはそれぞれの領域ごとに本校の正答率と全国平均を比較しました。その結果を以下のような言葉で5段階に示しています。

- ・全国平均との差が、+3.1ポイント以上 → 「上回っている。」
- ・全国平均との差が、+3.0～+0.1ポイント → 「ほぼ同程度であるが、やや上回っている。」
- ・全国平均と同じ → 「同程度である。」
- ・全国平均との差が、-3.0～-0.1ポイント → 「ほぼ同程度であるが、やや下回っている。」
- ・全国平均との差が、-3.1ポイント以下 → 「下回っている。」

【中学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ■ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 →全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ■ 「話すこと・聞くこと」 →全国平均を下回っている。 ■ 「書くこと」 →全国平均を下回っている。 ■ 「読むこと」 →全国平均を下回っている。	●文脈に応じた漢字を正しく書くこと。 ●相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること ●自分の考えが明確になるように論理の展開に注意して、話の構成を工夫すること。 ●読み手の立場に立って、表記を確かめて文章を整えること。	●使用頻度の高い言葉、新しく出合った言葉について調べたり、その語句を話や文章の中で使ったりする活動の充実。 ●聞き手の反応を踏まえて、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する活動の充実。 ●話や文章の中に示されている考えと、それを支える根拠との関係を明らかにしながら理解し、実際に表現する場面で活用する活動の充実。 ●文字や表記が正しいか、語句の選び方や使い方が適切かどうかを確かめながら自分の書いた文章を見直す活動の充実。

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

(3) 教科に関する調査（数学）

数学の調査結果の概要についてお知らせいたします。なお、分析にあたってはそれぞれの領域ごとに本校の正答率と全国平均を比較しました。その結果を以下のような言葉で5段階に示しています。

- ・全国平均との差が、+3.1ポイント以上 → 「上回っている。」
- ・全国平均との差が、+3.0～+0.1ポイント → 「ほぼ同程度であるが、やや上回っている。」
- ・全国平均と同じ → 「同程度である。」
- ・全国平均との差が、-3.0～-0.1ポイント → 「ほぼ同程度であるが、やや下回っている。」
- ・全国平均との差が、-3.1ポイント以下 → 「下回っている。」

【中学校数学】

中学校 数学	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	【領域】 ■「数と式」の平均正答率 →全国平均を下回っている ■「図形」の平均正答率 →全国平均を下回っている ■「関数」の平均正答率 →全国平均を下回っている ■「データの活用」の平均正答率 →全国平均を下回っている	●数量を文字を用いた式で表すこと。 ●多角形の外角の意味を理解しているか。 ●統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善すること。 ●証明をふり返し、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすこと。 ●事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること。 ●相対度数の意味を理解しているか。 ●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。	●基礎・基本的な計算法則を理解し、定着するまで反復する活動の充実。 ●「図形」領域における、基礎基本的な用語の意味を理解するための活動の充実 ●図形の性質を帰納や類推によって予想し、一般的に説明する活動の充実。 ●グラフから必要な情報を読み取る活動の充実。 ●「データの活用」領域における、基礎基本を定着させる活動の充実。 ●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実。

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

(4) 教科に関する調査（理科）

理科の調査結果の概要についてお知らせいたします。なお、分析にあたってはそれぞれの領域ごとに本校の正答率と全国平均を比較しました。その結果を以下のような言葉で5段階に示しています。

- ・全国平均との差が、+3.1ポイント以上 → 「上回っている。」
- ・全国平均との差が、+3.0～+0.1ポイント → 「ほぼ同程度であるが、やや上回っている。」
- ・全国平均と同じ → 「同程度である。」
- ・全国平均との差が、-3.0～-0.1ポイント → 「ほぼ同程度であるが、やや下回っている。」
- ・全国平均との差が、-3.1ポイント以下 → 「下回っている。」

【中学校理科】

中学校 理科	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	【領域】 ■「エネルギー」を柱とする領域 →全国平均を下回っている。 ■「粒子」を柱とする領域 →全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている ■「生命」を柱とする領域 →全国平均を下回っている ■「地球」を柱とする領域 →全国平均を下回っている	●「エネルギー」を柱とする領域 →設定した【仮説】について、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想すること。 ●「粒子」を柱とする領域 →密度に関する知識及び技能を活用して、実験の結果から密度の大小関係を分析し、解釈すること。 ●「生命」を柱とする領域 →植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能について学習する場面において、共通性と多様性の見方をはたらかせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈すること。 ●「地球」を柱とする領域 →気圧に関する身近な事象について、気圧の基本的な知識を概念として身に付け、正しく表現すること。	●「エネルギー」領域における、電気回路などの基礎・基本的な知識を元に仮説を立て、実験を行い、結果を理科的に分析する活動の充実。 ●「粒子」領域における、密度の大小によって起きる事象について実験を行い、結果を分析し、解釈する活動の充実。 ●「生命」を柱とする領域 →共通性と多様性を見出す学習活動の中では、どのような観点から分類するかについて明確にし、各分野での知識及び技能を関連付けて探究する活動の充実。 ●「地球」領域における、気圧などの基礎・基本的な知識を理解し、用語の意味を理解するための活動の充実。